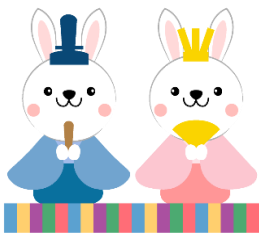


城北家保だより 令和5年3月号

家畜の衛生と防疫

(2023年3月7日発行)



〒861-0304 熊本県山鹿市鹿本町御宇田198-5

熊本県城北家畜保健衛生所

城北家保ホームページアドレス

城北家保メールアドレス

TEL 0968-46-2075 FAX 0968-46-3332

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/jouhoku/>

jouhokukaho@pref.kumamoto.lg.jp

マイコプラズマ ボビスによる子牛の中耳炎が流行しています。

マイコプラズマ ボビスは牛のマイコプラズマの中で最も病原性が高いとされています。単独でも中耳炎や関節炎、乳房炎等の疾病を引き起こします。さらに、生体の防御機構を回避するメカニズムがあるため、他の病原体の感染を助長して複合感染を引き起こし易くします。ウイルスや細菌と複合感染すると重篤な肺炎である牛呼吸器病症候群（BRDC；Bovine Respiratory Disease Complex）を引き起こします。

発症は30～90日齢で多く、元気消失、哺乳欲の減退、持続的な高熱等がみられます。

中耳炎では、頭を傾けたり、耳介下垂（耳が垂れる）などの症状が見られ、聴覚障害や顔面麻痺もみられます。

血流を介して、関節腔に侵入し重篤な関節炎を発生させます。

マイコプラズマに汚染された生乳や感染牛から直接あるいは間接的（哺乳器具、餌槽、ウォーターカップ）に感染します。近年、自動哺乳装置導入農場での発生が増加しています。



①耳介下垂、②外耳道の白色膿
③関節炎

上部気道へのマイコプラズマ ボビスの定着

ストレス

肺組織への侵入

7～14日経過

肺組織の顕著なダメージ

免疫抑制・回避
慢性化→治療への反応低下

マイコプラズマ ボビスは上部気道へ定着後、ストレスにより肺組織へ侵入します。

7～14日後、肺組織への顕著なダメージにより感染が発覚しますが、既に慢性化しているため、治療への反応は低下します。

対策として

①異状を発見したら速やかに獣医師に連絡しましょう。

②密飼を避け、子牛へのストレス低減に努めて下さい。

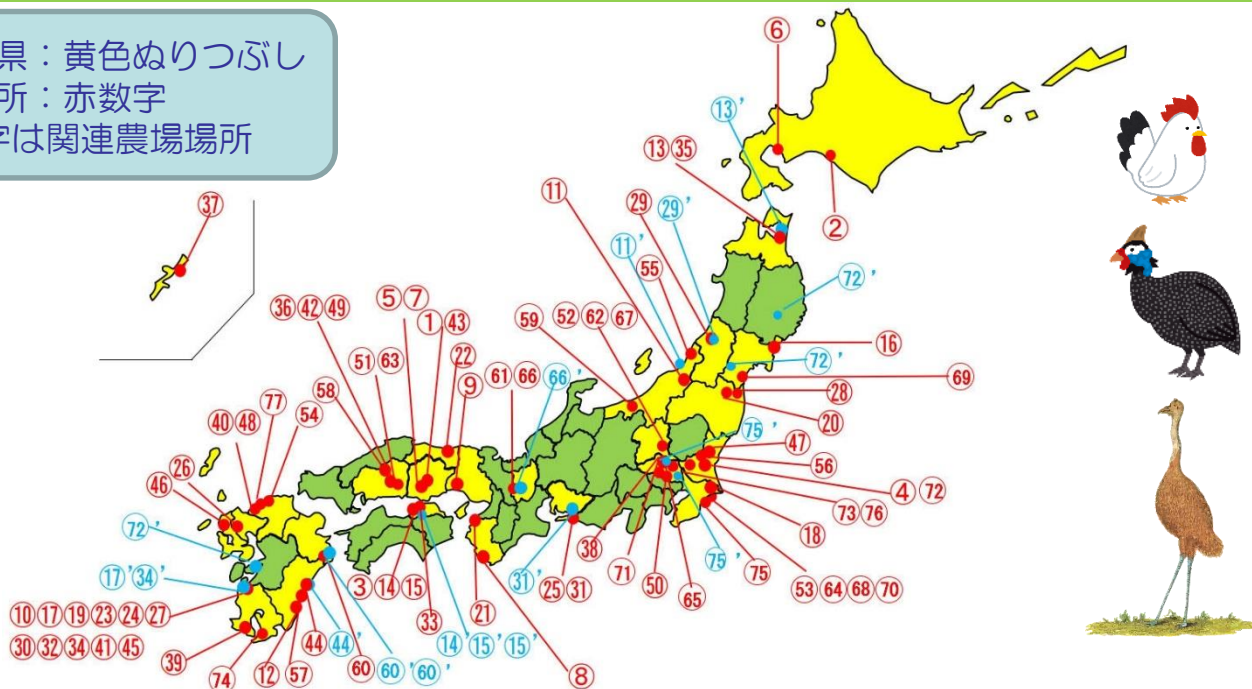
③発症牛のいた牛房は、入念な消毒を実施してください。

④感染牛の隔離及び導入牛等への鼻腔粘膜ワクチンやウイルス性呼吸器病5種混合ワクチン等の2回接種も発生低減のために有効です。

⑤抗菌剤による治療は、長期間が必要となります。（10～14日間が推奨。長期治療を実施しなかった場合は30～70%で再発します。）

高病原性鳥インフルエンザが全国で猛威を振るっています。

発生道県：黄色ぬりつぶし
発生場所：赤数字
*青数字は関連農場場所



○ 今シーズンは、過去最速となる10月28日に国内1例目が確認されて以来、令和5年3月2日時点で25道県77事例発生し、約1502万羽が殺処分対象となっています。
○ これまでに高病原性鳥インフルエンザの発生がなかった福島県、鳥取県、山形県、沖縄県、長崎県、群馬県においても発生しており、全国どこでも発生リスクが高くなっています。

○ 茨城県におけるほろほろ鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生を受け、令和5年2月2日に天草市の農場において、発生農場から発生前1週間以内に導入されたほろほろ鳥の殺処分等の防疫措置を実施しました。また、農場内の家きんにかけられた移動制限も、防疫措置終了後14日を経過した後に実施された清浄性確認検査の陰性をもって2月19日に解除されました。

※天草市の農場では鳥インフルエンザは発生していないため、移動制限区域及び搬出制限区域は設定されていません。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	肉用鶏 (2件)	令和5年1月11日、2月27日
			ウズラ	令和5年2月21日
			採卵鶏 (2件)	令和5年2月21日、2月23日
			地鶏 (2件)	令和5年2月21日、2月23日
アフリカ豚熱	H5N2	台湾	家きん	令和5年2月
		台湾	家きん	令和5年2月
		ロシア	野生いのしし	令和5年1月2日
アフリカ豚熱	韓国	豚	令和5年2月11日	
		野生いのしし (68件)	令和5年1月~2月	

令和5年(2023年)3月1日現在

折々の所感

もう3月、桃の花も咲き、温かくなってね。渡り鳥もさっさと帰ってね。(kk)

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」です。畜舎の一斉消毒をしましょう！！